



信州イスラーム世界勉強会事務局
e-mail info@shinshu-islam.com
TEL 0263-50-5514 FAX 0263-50-6110

世界勉強会 会員募集要項

■ 勉強会趣旨

「信州イスラーム世界勉強会」は、長野県内外の市民有志が自由かつ客観的な眼で自分たちにとってどんどん身近で重要な存在となりつつある、イスラーム教徒やイスラーム世界の動向を知り・考えてそれを自分たち自身の生き方や日本・世界の針路に役立てようとする学びあいの 広場です。ガザの人道危機やイラン攻撃により、中近東の情勢と私たちの

身近な生活の関係が

はっきり目に見える形になり、中近東の歴史と現状を学ぶことの意味は、ますます切実なものになってきています。

2015年12月のキックオフミーティング以降、様々な催しにこれまで参加いただいた皆様に、またいろいろな形でご支援・ご協力いただいた皆様に、心より感謝申し上げます。

分断と混沌の世界に対峙するために、私たちと一緒に考えて共に学んでみませんか？

■ 年会費

正 会 員 : 5,000 円

賛助会員 : 一口 1,500 円

(口数自由。出来るだけ二口でのご寄付をお願いします。また、有料イベントについて

は、参加料のご負担をお願いします。) 学生会員 : 1,500 円

年会費の用途: 信州イスラーム世界勉強会は、会員・顧問の皆さまの篤志によって運営されています。

年会費は、会場費・資料作成代・講師招聘の際の交通費等に充てられています。

■ 会員特典

会費納入済みの正会員・学生会員の皆さまには、定例会・e-定例会等の勉強会主催のイベントに無料で参加いただけます。ZOOM ウェビナー等オンラインで開催される企画も、昨今の WEB 事情を考慮し基本的には会員に限って公開されます。(告知・広報の目的で、会員・非会員を問わず公開する場合があります。)また、勉強会のイベント・参加申込については、ホームページ・Blog 等での告知に先だってメールマガジン等の形でご連絡をし、優先的にお席を確保いたします。

■ 申込方法以下の URL か QR コードから お名前／お名前のフリガナ／メールアドレスを登録のうえ画面右上の送信をクリックしてください。スマホからもアクセス可能です。

折り返し、ご登録のメールアドレスに、会費決済用のメールを送信いたします。
(クレジットカード決済／口座振込がご利用いただけます。)

※決済用メールが配信されない場合(ご返信に数日かかることがあります。)、
勉強会へのご連絡には info@shinshu-islam.com または、0263-50-6614 に
ご連絡ください。



<https://x.gd/Ezwm3z>

2026年度の予定については、別紙「2026年度行事予定表」をご参照ください。

※また、定例会会場でも会員登録を受け付けます。

以上



2026年度 信州イスラーム世界勉強会「定例会」他 行事予定

信州イスラーム世界勉強会事務局
e-mail info@shinshu-islam.com
TEL 0263-50-5514 FAX 0263-50-610

第51回 「イランは、中東は、アジアは、世界は、一体どうなる？」

世界のあちこちで、分断が強まっている。米トランプ政権とイスラエルが引き回すイランや中東、アジアや世界は、一体はどうなるのか？ 混沌とした世界の中で、私たちは何を目指し、どのように動いたらよいのか？ 2026年度の第1回(通算51回)定例会は、2025年7月定例会「分断と混沌の世界に立ち向かう～ウクライナ、ガザ、イスラエル、米国、そして日本～」での講演や市民団体の対話を踏まえ(そのPart 2として、前回の参加団体・参加者にも参加を呼びかけ)、渦中のイランと米国に焦点をあてながら、二日間にわたって、開催します。

第一部 徹底討論 「イランは、中東は、アジアは、世界は、一体どうなる？」

日時:5月23日(土) 13:30～17:00

会場:松本市中央公民館(Mウイング)会議室+ZOOMミーティング

討論者:

モデレーター(司会&討論者)

若林 啓史 元外交官(在イラン日本大使館公使など)／早稲田大学社会科学総合学術院非常勤講師／京都大学博士、中東地域研究。著書:『中東近現代史』(知泉書館、2021)、『シリアの悲嘆:キリスト教徒虐殺事件 1860年』(知泉書館、2019)、『聖像画論争とイスラーム』(知泉書館、2003)など

酒井 啓子 千葉大学グローバル関係融合研究センター長、イラク・中東国際政治)

桜井 啓子 早稲田大学国際学術院国際教養学部教授、イラン・在日ムスリム研究)

三牧 聖子 同志社大学グローバルスタディーズ研究科教授、アメリカ政治外交・国際政治(オンライン参加予定)

黒木英充(東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所教授 アラブ地域研究・移民)

板垣 雄三 元信州イスラーム世界勉強会代表／東京大学名誉教授、国際政治・世界文明戦略論)

佐藤 幸男 富山大学名誉教授、平和学・アジア太平洋地域研究)

鵜飼 哲 一橋大学名誉教授、現代思想・現代政治)

長沢 栄治 前信州イスラーム世界勉強会代表／東京大学名誉教授、アラブ現代史・ジェンダー研究)

(オンライン参加、在カイロ)

美甘 信吾 信州大学経法学部教授、国際関係論・東南アジア地域研究)

第二部 岳都松本から考える

日時:5月24日(日) 10:00~12:00

会場:松本市中央公民館(Mウイング)会議室+ZOOMミーティング

講演:「友情はマナスルを越えて」

田村 宣紀 長野県山岳協会顧問

(日本イラン合同マナスル遠征隊 登攀隊長、日本・イラン ダマーヴァンド峰親善登山隊 隊長)

講演:「日本人として初めて越えた4つの中東国境」

影山 淳 (登山家、㈱マルコ・ポーロ ジャパン代表取締役 輝け掛川応援大使

(日本イラン合同マナスル遠征隊 登頂者)

日本・イラン合同遠征隊ヒマラヤ・マナスル登頂(8163m)から40年を迎えた2016年の日本・イランダマーヴァンド峰親善登山隊(テヘランの北、アルブルズ山脈主峰ダマーヴァンド山〔日本ではイラン富士とも呼ばれる海拔5671メートルの活火山、アジア最高峰〕に長野県・静岡県から25名の日本人市民が参加した(団長:田村宣紀、副隊長影山 淳(静岡県掛川市))。田村氏をはじめ日本とイランの合同登山隊の交流は現在も続いている。

第52回定例会 中東に広がる音の文化

講演:「モロッコの山村に響く唄声~村と世界はどうやってつながるか~」「多様性と連続性の謎を音文化から読み解く」(仮)

堀内 正樹 (前成蹊大学教授、文化人類学)

日程 8月1日(土) 13:30~16:30 (予定)

会場 松本市中央公民館(Mウイング)会議室 ハイブリッド方式

第53回 定例会

「エジプトと日本、これから」(仮)

古代から現代へと続く、エジプトの文明と社会の性格を、日本との関わりに着目しながら、エジプト・スタディーツアー現地体験を踏まえて、俯瞰する。

政治と社会、政治と経済、政治と文化のミクスチャー(混淆)

ポップミュージック/ラップ、映画・テレビドラマ・コメディ

エジプトの「自画像」長沢栄治

日程 12月5日(土) (予定)

II e-定例会(予定) 候補

長沢栄治「カイロ通信」/若林啓史「適宜」/小田切拓「ぶらぶらパレスチナ」等

III. (連続)学習会

現在とこれからの世界の在り方、自分たちの立ち位置、などを

確認し活動に繋げていくための「学習」や意見交換の場(連続講座)を実施したい。

例えば、ラテンアメリカ、中東と西欧、アメリカ・トランプ、アジア・日本 といった幾つかの枠組みで、ゲストを招いて考え討論するような企画。

(案) モスクと墓地 日本のモスク調査「滞日ムスリム調査プロジェクト研究資料」サイト

<https://www.imemgs.com/>

IV 2025年4月26日(日)より新規講座を立ちあげる。(旧講座は継続)

松本講座:新規講座 第3乃至第4週の週末。月1回

具体的な日程は、受講者と相談。受講しやすい日時で設定する。

トライアル アラビア書道の受講者にご案内

4月26日(日) 13:30~16:30

(継続講座 毎月第4日曜日、9:30~12:30)

小諸講座:毎月第2・第4日曜日

V エジプト・スタディー・ツアー

スケジュール:12月 具体的には未定

当初案

11月1日(成田発)~ドーハ経由~11月2日(カイロ着)

11月15日(カイロ発)~ドーハ経由~11月16日(成田着)

現状、空域閉鎖のため航空券が手配できない、渡航できない可能性もある。改めて検討する。

できれば12月の第53回定例会に併せカイロに入り、現地とのオンライン中心に定例会を組み立てたい。